

練馬区健康づくりサポートプラン（素案）に寄せられた意見と区の考え方について

1 意見の受付状況

(1) 意見募集期間

令和元年12月11日（水）から令和2年1月17日（金）まで

(2) 周知方法

ねりま区報（12月11日号）・区ホームページへの掲載、区民情報ひろば
区民事務所（練馬を除く）、図書館、健康推進課、保健相談所での閲覧

(3) 意見件数

10件（6名）

(4) 寄せられた意見の内訳

項目	件数
第4章 1 きめ細かい子育て支援	8
第4章 3 生活習慣病対策の推進	1
第4章 4 総合的ながん対策	1
合計	10

(5) 意見に対する対応状況

区分	内容	件数
◎	意見の趣旨を踏まえ計画に反映するもの	1
○	素案に趣旨を掲載しているもの	2
□	素案に記載はないが事業等において既に実施しているもの	3
△	事業等を実施する際に検討するもの	2
※	趣旨を反映できないもの	2
合計		10

(6) 区民からの意見(要旨)と区の考え方

No.	意見の概要	区の考え方	対応区分
第4章 1 きめ細かい子育て支援			
1	(多胎児家庭について) 健診時のタクシー券の発行など、移動支援を充実してください。	<p>移動支援については、多胎児のベビーカーが大型であり、公共交通機関が利用しづらいといった声があることは認識しています。</p> <p>国や都の動向を注視しながら多胎家庭に寄り添った支援の充実について検討していきます。</p>	△
2	(多胎児家庭について) 子育てスタート応援券の使用枠をもっと広げてほしい。(インフルエンザの予防接種に使える、キッズカフェにも使える、タクシーにも使えるなど)	<p>子育てスタート応援券は、出産直後における保護者の身体的、心理的負担の軽減を図り、育児のスタートを円滑に始めていただくことを目的とした事業です。</p> <p>利用可能事業の拡大については、事業目的を踏まえ検討していきます。</p>	△
3	(多胎児家庭について) ベビーシッターなど、預かり制度を拡充してください。	<p>多胎児家庭には、様々な状況に応じた支援が必要です。国や都の動向を注視しながら多胎児家庭に寄り添った支援の充実について検討します。</p>	○
4	(多胎児家庭について) 一時預かりが使いづらいので利用しやすくしてほしい。朝イチで並ぶのはきついです。	<p>乳幼児一時預かり事業については、利便性の向上を図るため、令和2年4月からインターネット予約システムの運用を開始します。</p> <p>システムを通じ、自宅のパソコンやスマートフォンなどで利用できるようになります。</p>	□
5	双子サークルの周知など、双子の親同士が出会える、仲間づくりの支援をしてください。	<p>保健相談所において、親同士の交流や情報提供を目的とした多胎児の会を実施しており、妊娠中の方の参加も促しています。</p> <p>子ども家庭支援センターにおいても、</p>	□

		<p>多胎児家庭の集いを実施するとともに、地域活動室・軽印刷機の貸出など、民間子育て支援団体に対する活動支援を実施しています。</p> <p>引き続き、仲間づくりの支援をしていきます。</p>	
6	<p>乳幼児の健診について、待ち時間が長く、ずっとその場（保健相談所の廊下）にいないといけないのは大変だと感じていました。</p> <p>企業の健康診断などのように受付時間を5分単位など細かく区切ることで混雑を抑えたり、病院や区役所のように順番待ちが携帯電話で見れるシステムや、順番が近づいたら携帯電話で呼び出してもらえる運営を導入できないでしょうか。</p>	<p>乳幼児健診では、集団での育児・食事・歯などのお話の時間も設けているため、受付時間を細かく区切ることは困難です。</p> <p>待ち時間については、少しでも少なくできるよう、工夫し改善に努めてまいります。</p>	※
7	<p>子育て支援の活動をしてはいますが、産後ママへのケアに課題を感じています。産後の訪問時の聞き取りアンケートや保健相談所での対応、母親学級、両親学級など内容の改善が必要だと思います。</p> <p>「産前産後の継続的な両親学級」、出産前から男性に産前産後の女性の心の変化の理解を深めてもらう、夫婦で対話する時間を作る講座などを提案します。</p> <p>「産前産後カップルのためのしつもんBOOKの配布」、夫婦で子育てのことを一緒に考えるこ</p>	<p>出産前後や子育てについて男女で協力して行うことについて、「父親ハンドブック」や「パパとママが描く未来手帳」の配付、「パパ向け育児応援動画」の区ホームページでの配信など周知啓発を行っています。また、パパとママの準備教室も開催しています。</p> <p>産前・産後の支援や事業については、内容を見直すなど改善に努めてまいります。</p>	□

	とができるような「しつもんBOOK」を母子手帳とともに配布する。		
8	<p>子どもが欲しいがなかなか授からない夫婦が増えていると思う。</p> <p>少子化対策の一環にもなるので、不妊に悩む家庭へのサポートを積極的に行ってほしい。</p>	<p>区では、高額の治療費がかかる特定不妊治療の経済的負担を軽減することを目的に、特定不妊治療費の助成制度を設けています。</p> <p>不妊や不育症に悩む夫婦が増加傾向にある現状についてプランに記述するとともに、今後も支援を継続してまいります。</p>	◎
第4章 4 総合的ながん対策			
9	<p>肺がん検診について、早期発見、早期治療のために検診は大切であると考えますが、現行の健診（レントゲン）では、発見出来ない場合もある。</p> <p>「血液1滴でがん検診」などの新しい検診方法の研究が進んで、早く実用化になれば早期発見、早期治療につながると思います。</p> <p>これからも動向を注視していただきたいと思います。</p>	<p>「血液1滴でがん検診」など新しいがん検診方法の研究は、がん検診のあり方を大きく変える研究であり、がん検診の受診率向上にも期待できるため、実用化に向けた動向を注視していきます。</p>	○
第4章 3 生活習慣病対策の推進			
10	<p>隣接する豊島区や板橋区と比較すると、特定健診の料金が有料。がん検診についても同様で、有料かつ高価。</p> <p>他の施策を参考にして、是非、無料化、低料金化していただきたい。</p>	<p>国保の特定健診やがん検診の自己負担金は、ご自身の健康に対して区民の皆様の高い意識を持っていただく趣旨と、受益者負担および公平性の観点から導入しているものです。なお、住民税非課税世帯の方は無料とする対応を図っています。</p>	※